

『国際共修・語学教育実践』 投稿規程

本誌『国際共修・語学教育実践』は、山梨学院大学グローバルラーニングセンター（以下、GLCと略す）の機関誌として年1回発行する。本誌の編集は、『国際共修・語学教育実践』編集委員会が行い、GLCが発行する。

1. 本誌の目的

- ① GLCにおける語学（日本語・英語・中国語）および国際共修の教育・研究活動を学内外に広く発信する。
- ② 語学および国際共修教育の質向上を目指す。

2. 執筆資格

原則として山梨学院大学グローバルラーニングセンターの科目を担当する全教員。なお複数名の共著の場合、少なくとも1名がGLCの教員でなければならない。ただし、GLC紀要編集委員会（以下、編集委員会）で認めた場合はこの限りではない。

3. 原稿に関する条件

投稿原稿は未公開のものに限り、応募の時点で他に公刊される見込みのものであってならない。また、他誌との二重投稿は認めない。ただし、既に口頭で発表したものに相応の修正・発展を加えたものは、その旨を明記している場合に投稿が可能である。

4. 本誌に記載する記事

本誌には次の表に示す記事を掲載する。頁数には、要旨・図表・注・参考文献も含む。

種類	内容	投稿型	寄稿型	頁数
クローズアップ GLC	国際化をめぐるGLCからの発信		○	
実践論考	GLCにおける先駆的な教育活動への取り組み等に関する論考	○		8 以内
基礎調査	GLCの教育研究推進に資する基礎データを提示する調査	○		8 以内
FD報告	GLCによるGLC教員のためのFD報告		○	4 以内
プロジェクト報告	GLCで取り組んでいるプロジェクトの年次報告		○	4 以内

5. 研究調査倫理への配慮

すべての原稿において、調査協力者や調査関係者に対して研究倫理を遵守して調査を行い、投稿に関しての許可をとり、その旨本文中に記載すること。原稿に利用する写真やイラストなどを掲載する場合は、必要な許可を得ておく。ただし、GLC の機関名および科目名は除外し、調査協力者が特定される内容の記載はしない。

6. 投稿エントリー

投稿エントリーは、電子メール本文に以下を記入し、kiyo-glc@c2c.ac.jp 宛に送付すること。

- 記事の日本語題目
- 記事の種類
- 記事の種類と内容の関連の説明（日本語で 200～300 字程度）
- 実践・調査を行った正課科目名、あるいは正課外活動名

件名は、「『国際共修・語学教育実践』第○号投稿エントリー(○○○○)」とし、括弧内の○○○○は氏名とする。

投稿エントリーの締め切りは、10月31日（厳守）とする。

7. 原稿作成

(1) 使用言語

日本語、英語、または中国語で書かれたものとする。

(2) 書式

投稿原稿は MS Word で A4 用紙に作成し、ページ設定は 1 ページ 40 文字×40 行、マージンを天地左右 25mm とする。1 ページ目には題目、著者名、要旨（200 字程度）、キーワード（5 つ以内）をつける。原稿の使用言語が英語または中国語の場合、要旨、キーワードは日本語で作成する。

細部の書式については、別に定めるテンプレートに従うこと。なお、本投稿規程及びテンプレートに沿わない原稿は、編集委員会において不採用にすることができる。

(3) 投稿方法および締切

投稿原稿は、電子メールに以下のファイルを添付し、kiyo-glc@c2c.ac.jp 宛に送付すること。

- MS Word
- 内容が同一の PDF

件名は、「『国際共修・語学教育実践』第○号投稿原稿(○○○○)」とし、括弧内の○○○○は氏名とする。投稿原稿の締め切りは、1月10日（厳守）とする。

8. 掲載までの流れ

すべての原稿の採否の決定は、編集委員会が行う。採用予定の原稿でも、不備の箇所などの書き直しを編集委員会が指示することがある。投稿された原稿は採否の如何にかかわらず返却されないので、各自で控えを保管しておくこと。

採否決定は 1月31日までに行い、発刊は3月中旬とする。

校正は原則として再校までとし、執筆者が行う。校正時に変更が認められるのは植字上の、あるいは事実関係についての明らかな誤りのみに限る。事実関係の誤りを訂正する場合には、編集委員会の承認を要す。内容に関する訂正加除は原則認めない。

掲載までの流れ	日付
原稿締め切り	1月10日
採否、保留の決定	1月31日ごろ
原稿修正期間	2月1日～15日ごろ
クローズアップ GLC・特別寄稿の原稿締め切り	2月10日ごろ
最終採否決定	2月20日ごろ
執筆者間の原稿チェック	2月20日～25日ごろ
英語題目の提出	2月25日ごろ
最終確認・編集作業	3月1日～10日ごろ
図書館提出	3月中旬
GLC web サイト掲載	3月31日ごろ

1月開催のFD報告については、例外的に以下の通りとする。これ以降は、全体と合流する。

1月開催FD報告の原稿締め切り	2月10日ごろ
1月開催FD報告採否、保留の決定	2月15日ごろ
1月開催FD報告修正期間	2月15日～20日ごろ
1月開催FD報告最終採否決定	2月25日ごろ

9. 著作権と公開

本誌掲載の各論文はPDF版を山梨学院大学リポジトリに掲載することによって公開する。

10. 施行期日

この規定は、2022年5月25日から施行する。

以上